

支援者に求められる3つの資質



R4.9.22
メディカルアーツ

右のQRコードから
左のページの表示を
お願いします。



合同会社サクスシェア
代表社員・相談支援専門員 田中 さとる



合同会社サンクスシェア 田中 聡

- 1984(昭和59)年 福岡教育大学卒業後小学校教諭として勤務（糟屋郡）
- 1996(平成8)年 国立鳴門教育大学大学院学校教育研究科生徒指導コース入学
(現職教員として専門知識を高める研修の機会を得る)
- 1999(平成11)年 福岡県教育センター研修主事として現場教職員の研修事業に携わる
- 2006(平成18)年 社会福祉法人に入職し障害福祉サービス事業に従事
経験業務 特別支援学校放課後支援事業責任者
福岡市委託相談支援コーディネーター（相談支援専門員）
障がい者グループホーム管理者・サービス管理責任者
生活介護（障がい者通所施設）サービス管理責任者
- 2016(平成28)年 合同会社サンクスシェア創立（相談支援事業所サンクスシェア）

【資格】

- ・小中高教諭専修免許
- ・障害福祉サービスサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者
- ・相談支援専門員
- ・鳴門教育大学生徒指導学会会員
- ・西日本心理劇学会会員
- ・日本保健教育学会会員
- ・保育士

- ◆ 田中さとる
- ◆ 60歳
- ◆ 4人家族
- ◆ 北九州市生まれ
- ◆ パイナップル好き
- ◆ 納豆きらい
- ◆ 早起き得意
- ◆ 好きなところ
「ストレスほぼなし」
- ◆ 好きなフレーズ
「やれない理由を探さずに、どうしたらやれるかを考える！」
「Life is choosing
人生は選択の連続だ」

(2) 放課後等デイサービスの基本的役割

○子どもの最善の利益の保障

放課後等デイサービスは、児童福祉法第6条の2の2第4項の規定に基づき、学校（幼稚園及び大学を除く。以下同じ。）に就学している障害児に、授業の終了後又は休業日に、**生活能力の向上のために必要な訓練、****社会との交流の促進****その他の便宜を供与すること**とされている。

放課後等デイサービスは、支援を必要とする障害のある子どもに対して、学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じて、個々の子どもの状況に応じた発達支援を行うことにより、子どもの最善の利益の保障と健全な育成を図るものである。

① 基本的姿勢

放課後等デイサービスの提供に際しては、子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した支援を行うために、子どもの支援に相応しい職業倫理を基盤として職務に当たらなければならない。

放課後等デイサービスの対象は、心身の変化の大きい小学校や特別支援学校の小学部から高等学校等までの子どもであるため、この時期の子どもの発達過程や特性、適応行動の状況¹を理解した上で、コミュニケーション面で特に配慮が必要な課題等も理解し、一人ひとりの状態に即した放課後等デイサービス計画（＝個別支援計画）²に沿って発達支援を行う。

放課後等デイサービスでは、子どもの発達過程や障害種別、障害特性を理解している者による発達支援を通じて、**子どもが他者との信頼関係の形成**を経験できることが必要であり、この経験を起点として、**友達とともに過ごすことの心地よさや楽しさを味わう**ことで、**人と関わることへの関心**が育ち、**コミュニケーションをとることの楽しさ**を感じることができるよう支援する。また、**友達と関わることにより**、**葛藤を調整する力や、主張する力、折り合いをつける力**が育つことを期待して支援する。基本活動には、子どもの自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを組み込むことが求められる。

**適応行動とは、
年齢相応の周囲の
期待の範囲内の行
動（社会的な活動
への参加、コミュ
ニケーション、運
動など）のこと**

(1) ガイドラインの趣旨

(2) 放課後等デイサービスの基本的役割

○ 子どもの最善の利益の保障

「生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与すること」（児童福祉法）学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じた発達支援→最善の利益の保障と健全な育成

○ 共生社会の実現に向けた後方支援

インクルージョン 集団の中での育ちの保障 一般的な子育て支援策を、専門的な知識・経験に基づく後方支援 地域の障がい児支援の専門機関としてふさわしい事業展開

○ 保護者支援

①子育ての悩み等に対する相談を行うこと ②家庭内での養育等についてペアレント・トレーニング等活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援すること ③

(3) 放課後等デイサービスの提供に当たっての基本的姿勢と基本活動

① 基本的姿勢

発達過程や特性、適応行動の状況を理解した上で、コミュニケーション面で特に配慮が必要な課題等も理解し、一人ひとりの状態に即した個別支援計画に沿って発達支援を行

② 基本活動

ア 自立支援と日常生活の充実のための活動

基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動「遊びを通じた成功体験」「自己肯定感を育む」

イ 創作活動

表現する喜びを体験できる。日頃から自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味をもつ。「豊かな感性」

ウ 地域交流の機会の提供

子どもの社会経験の幅を広げていく。放課後等に行われている多様学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受け入れ等により積極的に地域との交流を図っていく。

エ 余暇の提供

子どもが望む遊びや自分自身をリラックスさせる練習等の情活動を自己選択して取り進む経験を積んでいくために、多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう工夫する。

(4) 事業所が適切な放課後等デイサービスを提供するために必要な組織運営管理

① 適切な支援の提供と支援の質の向上

○ 運営方針、計画、タイムスケジュール、活動プログラムについて、PDCAサイクルにより不断に支援の質の向上を図る。

○ 支援に関わる人材の知識・技術を高める研修の機会確保+習得意欲喚起

○ 保護者、学校をはじめ、さまざまな関係機関との連携、情報共有→放課後等デイサービスに期待される役割の認識

② 説明責任の履行と透明性の高い事業運営

○ 保護者の満足感、安心感を高めるため支援の内容を保護者とともに考える。丁寧な説明。寄り添うための積極的なコミュニケーション。

○ 事業所が、地域社会からの信頼を得るため、事業に関する情報発信を積極的に行い地域に開かれた事業運営を心がける。

③ 様々なリスクへの備えと法令遵守

○ 健康状態の急変、非常災害、犯罪、感染症に対する訓練やマニュアルの策定

○ 虐待の未然防止や個人情報の保護、関係法規の遵守。「子どもの権利擁護」

よりどころは？

サンクスシェア田中作成2019

	設置者・管理者	児童発達支援管理責任者	従業者	
子ども のニーズ に応じた 質の向上	環境・体制整			
	PDCAサイクル による適切な 事業所の管理	事業所運営の理念・方針の設定・見直しと職員への徹底	子どもと保護者及びその置かれている環境に対するアセスメント	障害児支援利用計画及び放課後等デイサービス計画の理解
		複数のサイクルでの目標設定と振り返り コミュニケーションの活性化等 子どもや保護者の意向等の把握	放課後等デイサービス計画に基づくPDCAサイクル等による適切な支援の提供	放課後等デイサービス計画に基づくPDCAサイクル等による適切な支援の提供
		支援の継続性		従業者間での意思の疎通、支援内容の共有 支援提供に際しての工夫 支援提供記録
従業者等の知識・技術の向上	従業者等の知識・技術の向上意欲の喚起 研修受講機会等の提供	従業者及び自らの知識・技術の向上	研修受講等による知識・技術の向上	
関係機関・団体や保護者との連携	障害児相談支援事業者との連携 学校との連携 医療機関や専門機関との連携 保育所・児童発達支援事業所等との連携 他の放課後等デイサービス事業所等との連携 放課後児童クラブや自治会等との連携 協議会等への参加 保護者との連携	関係機関・団体や保護者との連携	関係機関・団体や保護者との連携	
	障害児相談支援事業者との連携 学校との連携 医療機関や専門機関との連携 保育所・児童発達支援事業所等との連携 他の放課後等デイサービス事業所等との連携 放課後児童クラブや自治会等との連携 協議会等への参加 保護者との連携	関係機関・団体や保護者との連携	障害児相談支援事業者との連携 学校との連携 保育所・児童発達支援事業所等との連携 他の放課後等デイサービス事業所等との連携 放課後児童クラブ等との連携 保護者との連携	
子ども に 対 し て の 責 任 を 負 う こ と	運営規程の周知 子どもと保護者に対する支援利用申込時の説明 保護者に対する相談支援等 苦情解決対応 適切な情報伝達手段の確保 地域に開かれた事業運営	子どもと保護者に対する運営規程や放課後等デイサービス計画の内容についての丁寧な説明 保護者に対する相談支援等 苦情解決対応 適切な情報伝達手段の確保	保護者に対する相談支援等 苦情解決対応	
	緊急時対応 非常災害・防犯対策 虐待防止の取組 身体拘束への対応 衛生・健康管理 安全確保 秘密保持等	緊急時対応 非常災害・防犯対応 虐待防止の取組 身体拘束への対応 衛生・健康管理 安全確保 秘密保持等	緊急時対応 非常災害・防犯対応 虐待防止の取組 身体拘束への対応 衛生・健康管理 安全確保 秘密保持等	

放課後等デイサービスの仕事

① 行動問題を
減らす・なくす



状況と時期の
適切な見立て

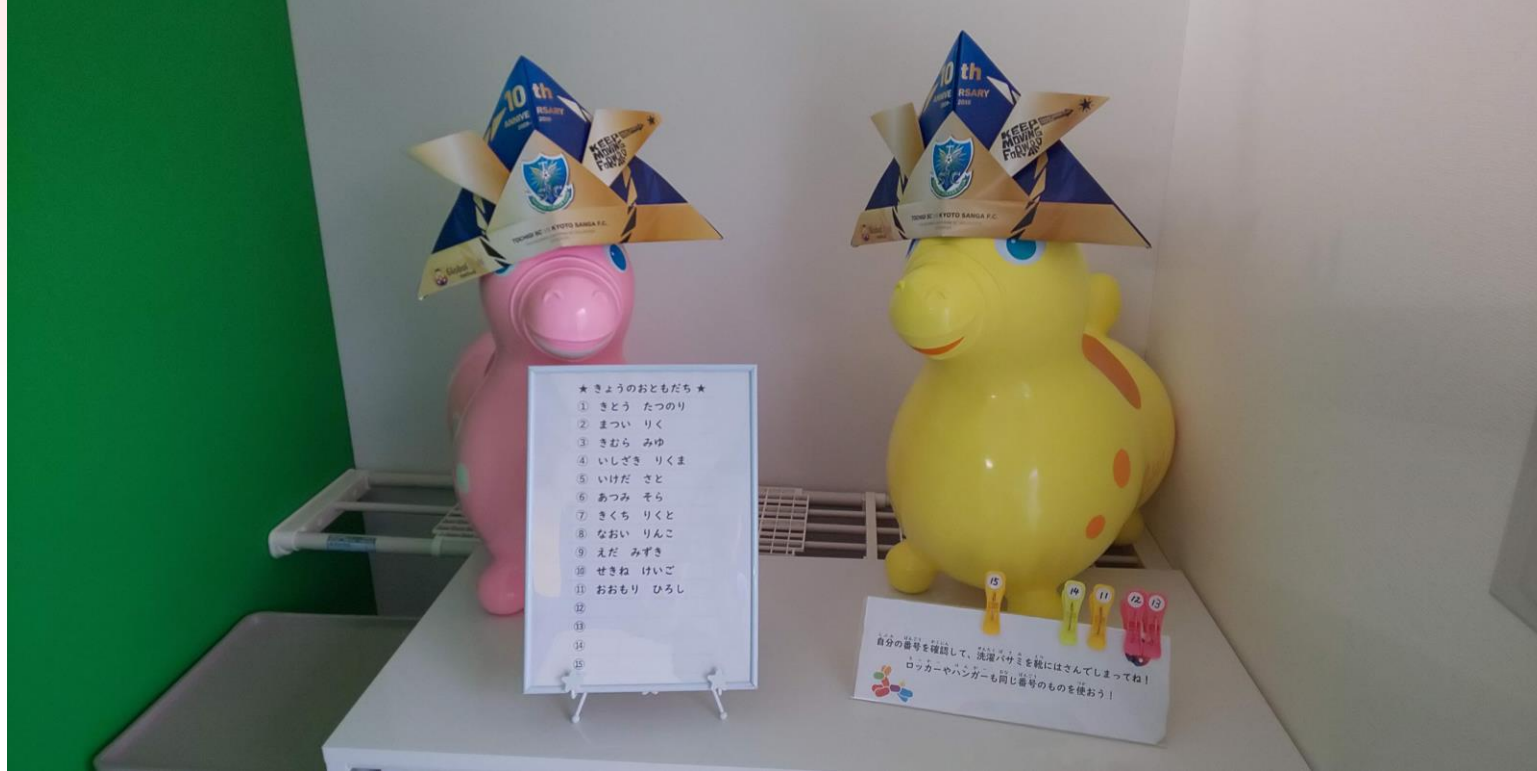
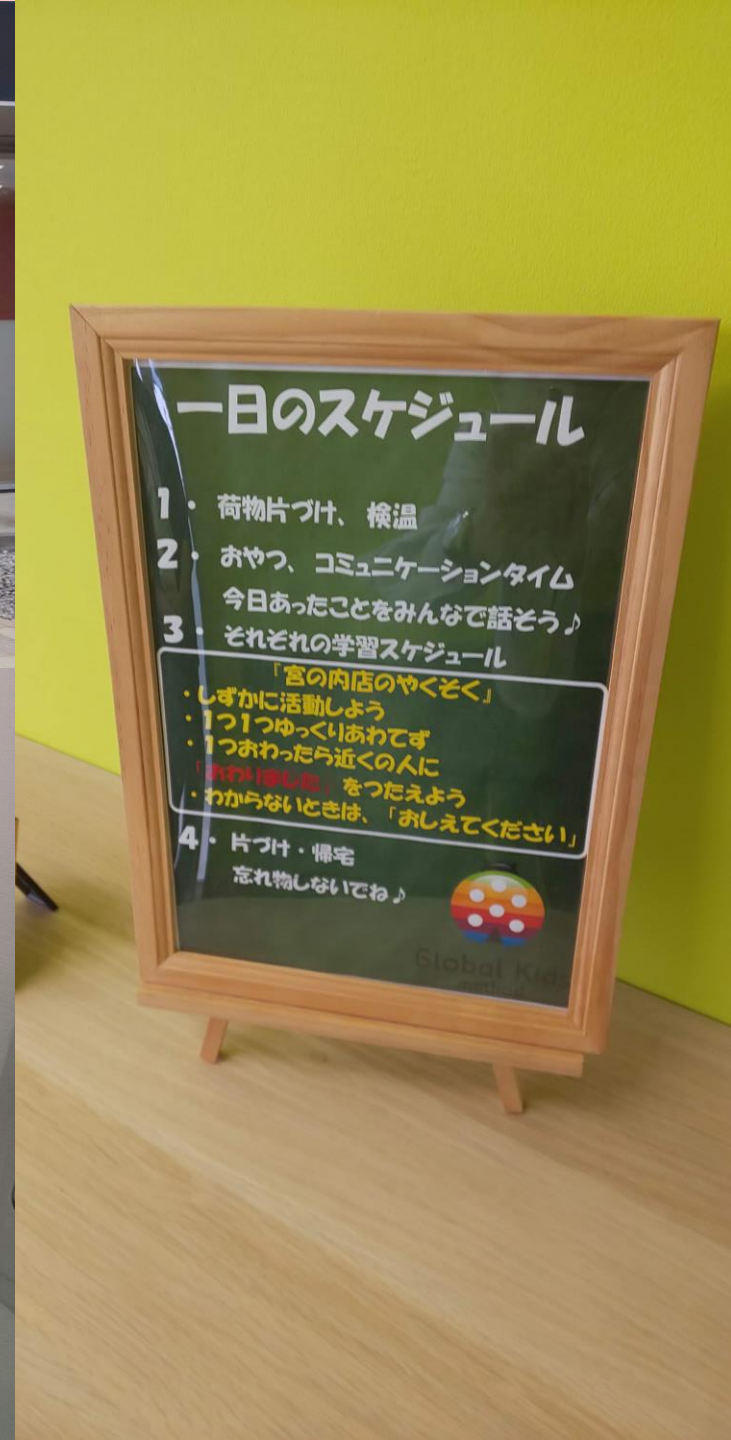
② 望ましい行動を
身に付けさせる

- ・小さな段階を小刻みに用意する
- ・ごほうびをたっぷりと用意する

支援者に
必要な
3つのスキル

- 1 コーチングのスキル
- 2 ティーチングのスキル
- 3 カウンセリングのスキル

- ・療育の専門機関
- ・療育の一貫性を保持する強み（12年間）
- ・家庭との厚いつながり
- ・日中一時（2,000円以下）と
放課後等デイサービス（8,000円以上）の差の認識
- ・「お客様」意識





支援者に必要な3つの資質



① コーチングスキル

① コーチング

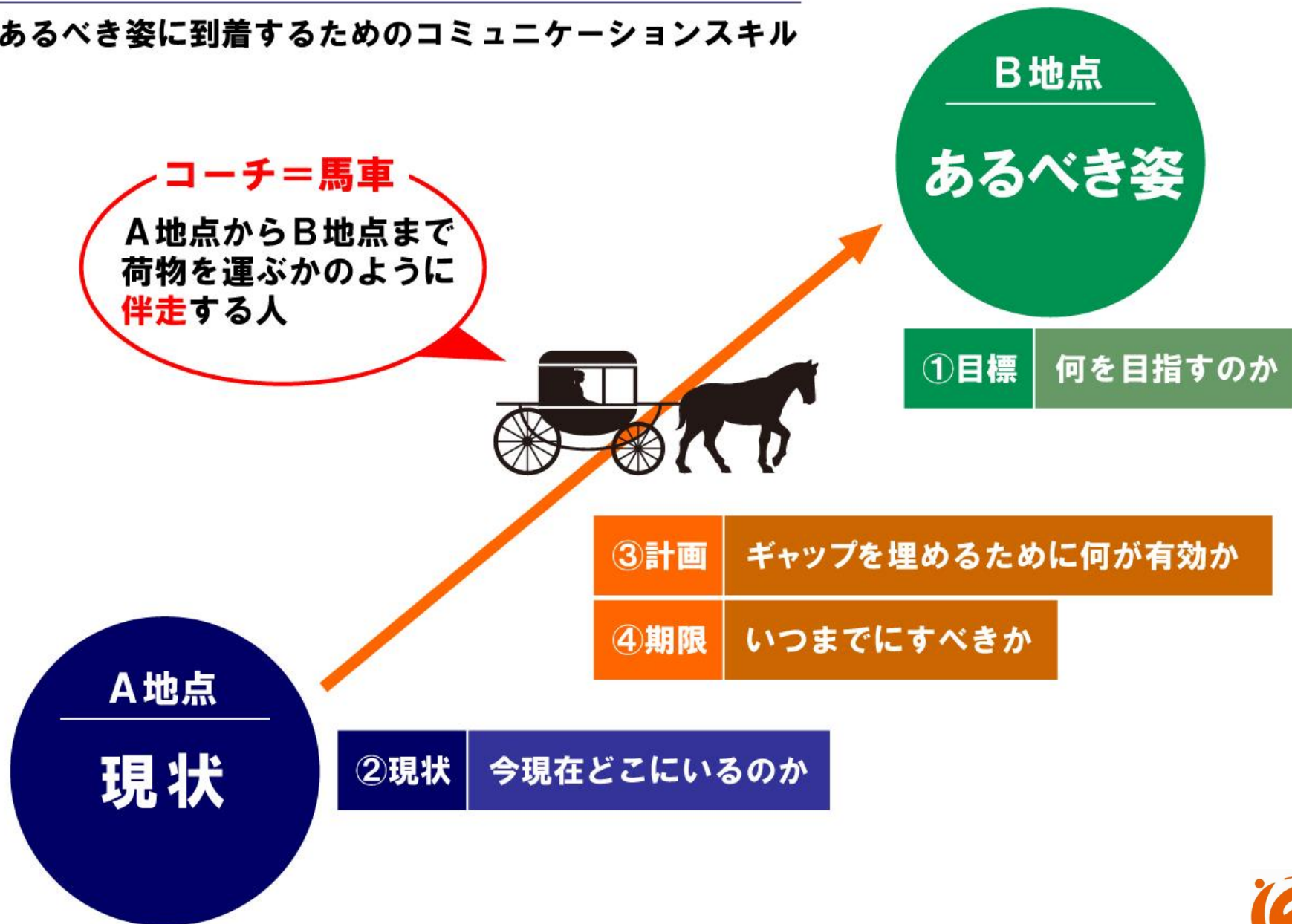


「コーチングとは、
もっとも欲しい結果
(ゴール) を明確にし、
自分一人では絶対に行
くことができないであ
ろう速さで、ゴールに
向かうことを助けるこ
と」

by トマス・レナード

コーチングとは

あるべき姿に到着するためのコミュニケーションスキル



【目標管理（MBO）】

Management by Objectives P.ドラッカー

- ① やることの管理
- ② モチベーションの管理
- ③ 人の管理

MBO（目標管理）とは Management By Objectives

上司と本人が合意の上で、業務目標を設定し、一定期間ごとに達成度を評価する制度

✓自己統制による目標管理とも呼ばれる。
1950～60年代にP.F.ドラッカーが提唱

✓日本では1980年代から導入され、
2000年代には大企業では約8割が実施



【目標管理（ベーシック法）】

- ① 目標項目を設定する
- ② 達成基準を決める
- ③ 達成期限を決める
- ④ 達成計画を立てる



① コーティング

『目標管理』：モチベーションの管理



モチベーションって

TEMONA

モチベーションと動機づけ

動機づけの種類



社会的動機付け

外発、内発、達成を包含する

外発的動機づけ

処遇、待遇、金銭、義務

内発的動機づけ

好奇心、感情性、挑戦性、認知性

達成的動機付け

より目標達成をしようとする

生理的動機付け

食べたい、寝たい、排泄したい

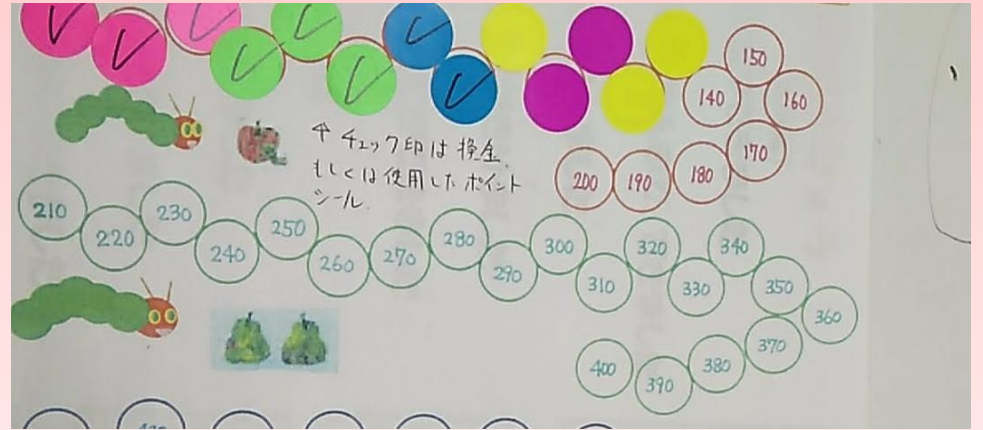
① コーチング

『目標管理』：モチベーション『動機付け』の管理

- 遊戯動機**…楽しさや面白さを求める。緊張をやわらげ、冗談やゲームを好む。
- 理解動機**…理論的な考えを求めたり、物事の仕組みを理解しようとする。
- 変化動機**…新しいことを好み、流行に敏感で変革を求める。
- 秩序動機**…安定、秩序、伝統、などを大切にする。整理、整頓、正確さを目指す。
- 達成動機**…努力して高い目標をやり遂げる。才能を生かし自尊心を高める。
- 親和動機**…好きな人の近くにいたい、助け合いたいと思う動機。友情を重視する。
- 屈辱動機**…自分を責め、非難や罰を受け入れたいと思う。敗北を認める。
- 攻撃動機**…言葉や力を使って相手を屈服させたい、反対を克服したいと思う。
- 自律動機**…束縛、強制、横暴な権威、因習を嫌い、自由と独立を求める。
- 支配動機**…人の上に立ちたい、説得や命令によって人に影響を与えたいと思う。
- 服従動機**…優れた人の命令に従い、その人の言う通りにしたいと望む。
- 顕示動機**…目立ちたい、人を驚かせたり、楽しませたりして印象づけたいと思う。
- 援助動機**…弱い者、困っている者などを助け、慰め、励ましたいと思う。
- 依存動機**…甘えたい、助けてもらいたい、愛されたい、同情されたいと思う。
- 異性愛動機**…異性を求め、恋愛関係や性的関係に関心を向ける。
- 屈辱回避動機**…失敗して軽蔑されることを避けたいと思う。自己防衛的な思い。

① コーティング

『行動の動機付け』：汎性強化子



にもつやくつ・けんおんまで、できました

しゅくだい・かだいをしました

せんせいのいうことがきけました

こうたいであそぶことができました

かたづけができました

ものをだいにつかいました

おまめをたべ、おまんこがきました

※直筆で書く。出来ない場合はスタッフが記入。

じぶんのもくひょう(自分の目標)

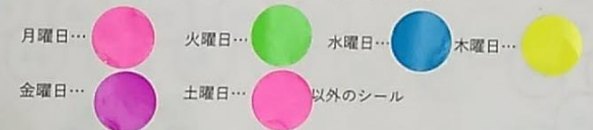
※となりの良い事表から自分の目標を書く。出来ない場合はスタッフが選んで記入する。ちなみに何個選んでも良い。

じぶんのほしいもの(自分の欲しい物)

※自分のほしい物や、やりたい事を書く。出来ない場合はスタッフが記入。予算は2,000円前後なのでオーバーしそうな場合は

2 シールを貼る・評価について... 基本は児童の自己申告を元に評価します。子供たちが自分から『出来た』ことに対してシールを貼っていいのですが、明らかに出来ていない事では貼らずに、他の出来たことを一緒に探すようにしてください。10個の項目から3個以上できたら3枚シールを貼ります。1個の際は1枚、2個の際は2枚貼ります。基本的に毎日3枚貼っていいのですが、あまりにも出来なかったことが多い時は、1~2個貼って『今日は出来なかったことが多かったから、明日頑張ろう!』など声掛けをしましょう。なるべく出来たことを一緒に探すようにしてください。評価・シール貼りは帰る時に行います。3~5分を目安として行ってください。

3 シール管理について... シール管理は田邊・松尾が担当します。担当からシールをもらい、なるべく本人に貼らせるようにしてください。曜日でシールを色分けしていますが、どうしてもミスする場合があると思うのであくまでも原則とします。



4 シールの換金について... シール1枚 = 10円(トイ円) で換金できます。換金のタイミングはいつでも可能ですが、ある程度溜まってからの換金をするように誘導してください。また、換金したり、シールのままで使用した場合はマジックで印を入れて、使用済の印を入れます。トイ円の管理も田邊・松尾が担当しますので、児童が換金を希望した場合は担当に伝えて下さい。

5 ご褒美について... トイトイガチャ 1回 100円 もしくは シール10枚
自分が欲しい物(欲しい事) 1,000円 もしくは シール100枚
※他にも月間で一番ポイントを貯めた児童には表彰など 考えています。決まり次第、随時申し送ります。

① コーチング

コーチングのスキル：『5つの基本スキル』

基本スキル	目的
認めるスキル	相手に安心して話をしてもらう
聴くスキル	相手にきもちよくたくさん話してもらう
質問するスキル	相手の中にあるものを引き出す
フィードバックするスキル	相手の鏡の役割をする
リクエストするスキル	相手の行動を促す

① コーチング

コーチングのスキル：『聴くスキル』

【聴くスキル】：子どもが話をしたくなる聞き方

聞く・・・周りから音声が聞こえてくる

聴く・・・相手の気持ちや思いなどを受け止める

訊く・・・相手に質問して情報を得る

【ノンバーバル（非言語）とバーバル（言語）の一致】

- ・手を止める
- ・体を向ける
- ・目線を合わせる
- ・最後まで聴く
- ・うなずきやあいづちを入れる
- ・声のトーンを相手に合わせる
- ・にこやかな顔の表情
- ・話をはさむタイミング

「そうそう」同意

「そうなんだあ」共感

「ねえそれで？」催促 など



① コーチング

コーチングのスキル：『質問するスキル』

【質問するスキル】：子どもに自主的な行動を促す

行動できないのは・・・ 「何を行動すればよいのかわからない」
「モチベーションが低い」



質問を重ねて行動を具体化する

質問によって相手に気づきを増やす・広げる

クローズドクエスチョン・・・『Yes? or No?』 「A? or B?」

オープンクエスチョン・・・5W1Hを質問し、具体化する

支援者に必要な3つの資質

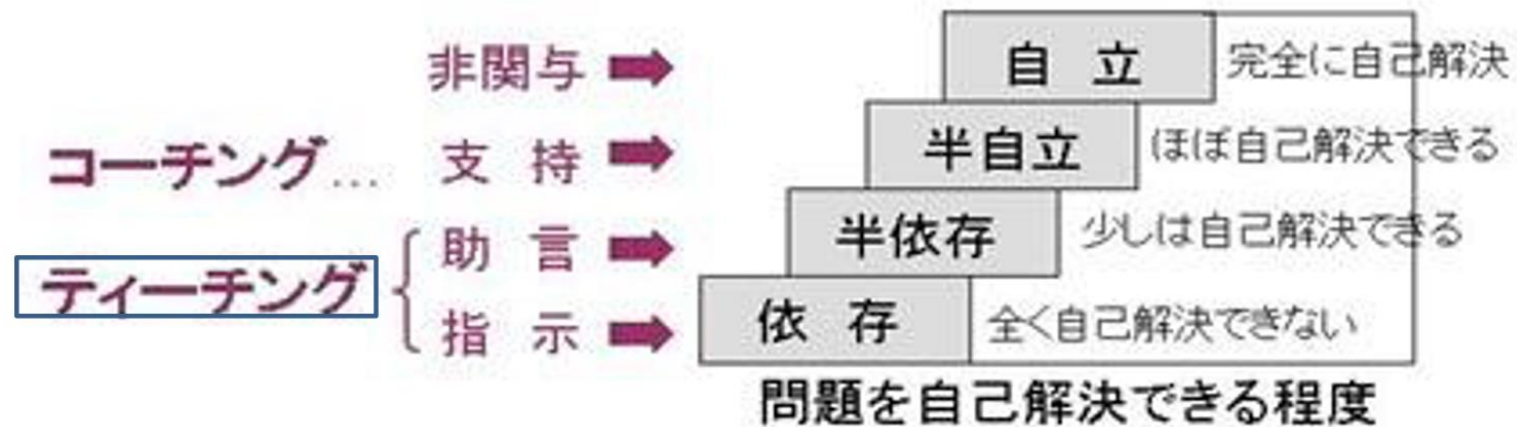


② ティーチングスキル

② ティーチング

ティーチング

- 情報を持っている人が情報を知らない人に情報を伝達すること
- 知識や経験をもとに指示や助言を与えること



ティーチングとコーチングの使い分け

望ましい行動を引き出す行為

- ・ 学び手に**身につけてほしい**のに、できていない行動が**できる**ようにする。
→ (例えば送迎車から降りて、事業所の入り口を入ったら、靴箱にくつを揃えて入れること)
- ・ 学び手の**間違っただ行動**を**正しい行動**へ変える。
→ (例えば、自分が使いたいおもちゃをほかの子が持っていて、相手の子をたたいてそれを奪い取ってしまう)

② ティーチング

『教える技術』：行動の定義（MORSの法則）

Measured	計測できる：数値化できる
Observable	観察できる：誰が見てもどんな行動をしているのかがわかる
Reliable	信頼できる：どんな人が見てもそれが同じ行動だと認識できる
Specific	明確化されている：何をどうするかが明確になっている

② ティーチング

『教える技術』

行動の分解	教える内容を「知識」と「技術」に分ける
	やるべきことを分解して伝える（できる人の行動を参照）
	子どもが知っていること、できることを把握（アセスメント）する
伝える	指示を具体的な表現に言語化する
	とるべき行動を具体的に表現する
評価	正しく評価するために、行動の数をカウントする

教える内容を「知識」と「技術」に分ける

- ・ 知識 . . . 聞かれたら答えることができること
- ・ 技術 . . . やろうとすればできること

Disability

Learning Disability, LD

The screenshot shows the Weblio dictionary entry for 'ability'. The main definition is 'できること、能力、技量、力量、才能'. It includes a pronunciation guide 'a·bil·i·ty' and a table of related information such as 'abilityの品詞ごとの意味や使い方' and 'abilityの学習レベル'.

Disorder

Attention-deficit hyperactivity disorder、ADHD

The screenshot shows the Weblio dictionary entry for 'order'. The main definition is '順序、順、語順、整理、整頓(せいとん)、整列、(...の)状態、調子、(社会の)秩序、治安'. It includes a pronunciation guide 'or·der' and a table of related information such as 'orderとは' and 'orderの学習レベル'.

「できた」「わかった」の**要素分析**と**過程分析**が重要！

【はさみの使い方の要素】

- ・ はさみのもち方
- ・ 切る紙のもち方
- ・ はさみの歯の上下移動の指の動かし方
- ・ はさみの歯で切る位置
- ・ 切る紙の動かし方
- ・ はさみを動かす速さ
- ・ 目線の位置

【はさみを使う手順】

- ① はさみを持つ
- ② 紙を持つ
- ③ はさみを紙に当てる
- ④ はさみを上下運動させる
- ⑤ 紙を持つ位置を移動させる

★ 教える技術

1 2

「3分間で学級全員が跳び箱を飛ばせることができる技術」

- ・ スピードに乗って助走する
- ・ 両足で踏切ジャンプする
- ・ 跳び箱の先の方に両手をつく
- ・ 腕を視点にして体重移動する
- ・ 腕を視点にしてと簿箱の向こう側へ降りる
- ・ 両足で着地する

支援者に必要な3つの資質



③ カウンセリングスキル

③ カウンセリング 『カウンセリングとは』

カウンセリングとは・・・

カウンセリングとは、言語的および非言語的コミュニケーションを通して行動の変容を試みる人間関係である。

カウンセリングの種類

「治療的カウンセリング

「能力開発的カウンセリング」



カウンセリングにおける重要ポイント：リレーション

【支援者への信頼感】

「この人は、自分の味方だ」

「この人は、自分の身になって聞いてくれる人だ」

「この人は、厳しいことも言うけど、最終的には自分を守ってくれる」

「この人は、自分のことをよくわかってきている」

「この人は、自分のことを気にかけてきている」

「この人は、自分のことを受け容れてきている」



カウンセラーに求められる人格

①	人好き ：自分を好いている人間（=自己受容できている）
②	共感性 ：人の話が実感を伴って聴ける（→多種多様な感情体験）
③	無構え ：柔軟な姿勢、心構え、融通性、建前からの脱却
④	自分の人生 ：自分自身の人生が幸福である

③ カウンセリング

『カウンセリングの技法』

自己肯定感を高めるカウンセリング的かわり
「リレーションづくり」→「問題の把握」→「解決処置」


【カウンセリングの技法を活かす】

- 1 受 容 …あいづちをうちながら「うむ、うむ」と聴く
- 2 支 持 …相手に同調する気持ちを表現する
- 3 繰り返し…相手の話したポイントを相手に投げ返す
- 4 明確化 …相手が意識化していないことを言語化して返す
- 5 質 問 …相手を助けるための質問をして情報を手に入れる



③ カウンセリング

『リフレーミング』

 (楽々かあさんHP)

	障害特性	リフレーミング (強みの表現に変換)
1	ことばを聞いて理解することが苦手	目で見た情報は理解しやすい
2	表情や身振りを、誤って理解してしまう	明瞭に (はっきりと) 区別された指示を好む
3	人や場面によって態度を変えられない	ルールをきっちり守ろうとする。物怖じしない
4	他の人の興味あることに関心が薄い	状況に左右されず、自分の好きなことに取り組むことができる
5	全体をとらえて関係性をつかむことが苦手	細部に、強く意識を向けることができる
6	別のやり方を探したり臨機応変な対応が苦手	状況に左右されず、ねばり強く取り組むことができる
7	集団で一斉に行動することが苦手	マイペースに課題を完了することができる
8	「いつ終わる」かを理解するのが苦手	決められたことをやり続けようとする
9	抽象的、あいまいなことの理解が苦手	具体的で、はっきりしたことを好む
10	経験していないことを想像することが苦手	経験したことは、しっかりと覚える
11	特定の物事に強く固執	興味があること (趣味・仕事) に、積極的に取り組める
12	規則することが苦手	繰り返し体験することで記憶する
13	発達 (認知能力) がアンバランス	興味・関心。好きなことは抜群にできる
14	特定の行動を何度も繰り返してしまう	決まったパターンを几帳面に行うことができる
15	期待されていることに注意が向かない	興味・関心があるものに、強く注意・集中を向けることができる
16	特定の感覚が過敏、または鈍い	些細な違いや変化に気が付くことができる、または非常に我慢強い

支援者に必要な**3つ**の資質を
身につけて、やること



望ましい行動を身につける『2』段階の支援



行動問題を防ぐ

『5』サイクル

行動問題への対応の『5』サイクル

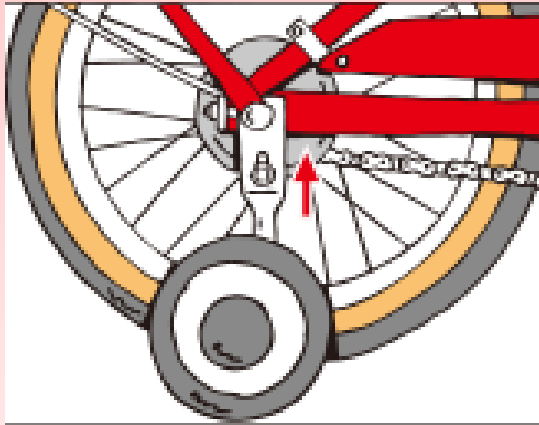
意識
(=評価)

- | | | | |
|----|--------------------------|--|---------------------------------------|
| 事中 | ① 起きてしまった行動問題をできる限り早く収める | <ul style="list-style-type: none">原因や要因の削除クールダウンスペースの確保 | <input type="checkbox"/> 早く収めたか？ |
| | | | |
| 事後 | ② 落ち着いたらトラブル処理をする | <ul style="list-style-type: none">謝罪や仲直り、問題である理由の説明など今後の約束を決めさせる（決める） | <input type="checkbox"/> トラブル処理したか？ |
| | | | |
| 事前 | ③ 約束に沿った対応をする | <ul style="list-style-type: none">決めた約束を決してスルーしない（すべてのスタッフ） | <input type="checkbox"/> 約束に沿って対応したか？ |
| | | | |
| 事前 | ④ 起きた問題行動を分析する | <ul style="list-style-type: none">【状況】 【きっかけ】 【生まれた結果】 を洗い出す | <input type="checkbox"/> (記録から)分析したか？ |
| | | | |
| 事前 | ⑤ 行動問題がおこらない環境設定をする | <ul style="list-style-type: none">事前の約束を徹底する | <input type="checkbox"/> 環境設定していたか？ |
| | | | |

望ましい行動を身に付ける『5』段階戦略

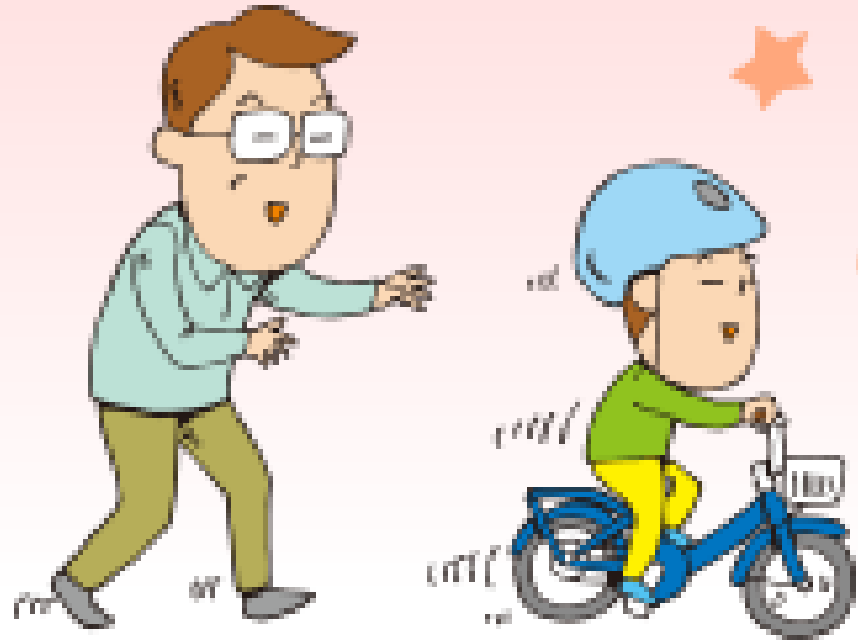
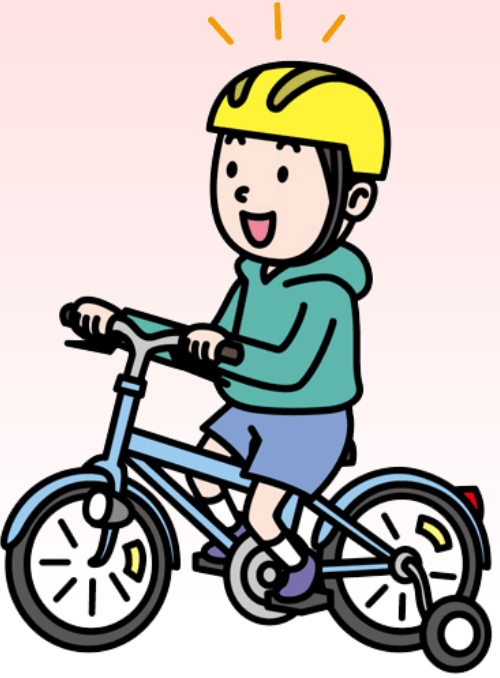
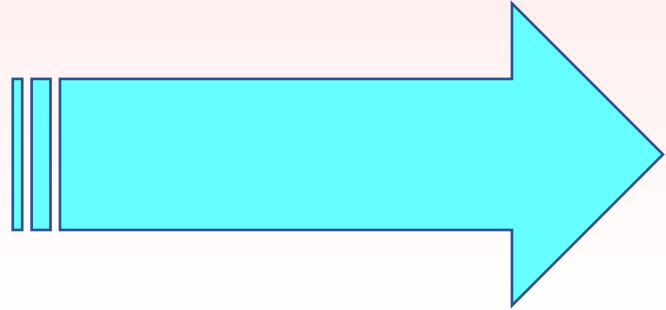
- ① 不適切行動を『**軽減**』する・なくす
 - ・ 不適切な行動の頻度を下げる（＝強化しない）
- ② 望ましい行動を新たに『**獲得**』させる
 - ・ これまで持っていなかった行動を出現させ強化する
- ③ 獲得した行動を『**維持**』させる
 - ・ 一度獲得した行動が弱化・消去されないよう維持する
- ④ 獲得した行動を『**般化**』させる
 - ・ ある限定場面だけで行動が起きるのではなく、他の別の場面でも行動が起きるようにする
- ⑤ 獲得した行動の『**自立**』度を高める
 - ・ 他者の依存ではなく自分の力で行動する部分を増やす

支援とは



ひとりでできる

支援 = 補助輪
つけ



支援の量